

■ 議長記者会見概要

日 時：平成25年2月27日（水）14：40～15：00

場 所：記者会見場（県庁内）

出席者：上田悟議長、高柳忠夫副議長、国中憲治広報委員会座長



国中憲治広報委員会座長

上田悟議長

高柳忠夫副議長

〈案件〉

（1）定例会開会にあたって

皆さま方に本日の御礼と所感を述べさせていただきます。

本日、知事から議案説明がありました。今議会は平成25年度の当初予算案をはじめ平成24年度補正予算など、審議の量が多く、長丁場になると思いますがご協力をお願いします。

平成25年度予算についても、依然として厳しい財政状況の中にもかかわらず、当面の課題として紀伊半島大水害からの復旧・復興をはじめ、企業立地などに取り組むということ盛り込んでおられます。また、奈良公園及び周辺の魅力向上や、地域経済の活性化、新県立奈良病院の整備、医科大学教育・研究部門の移転整備など、県民の福祉の向上を図るなど、必要な経費を予算計上されていると見ております。県民の一人として、心強いと思っています。

議会としては、会期中に予算審査特別委員会が設置されますので、重点的に慎重に審議していく所存です。

(2) 議場コンサートについて

本日、本会議が始まる前に、奈良県議会としては初めて県民の方々にご参加いただき議場コンサートを開催したところです。

初めての試みですので、何よりも文化の振興、奈良らしさを演出するということで奈良フィルハーモニー管弦楽団に入ってくださいました。奈良と言えば歴史文化ですが、今日的な美術も芸術も奈良の文化はすごいということを皆で共有しなければと思い、奈良を中心として活動している奈良フィルハーモニー管弦楽団に第1回目の出演をお願いしました。

また、何よりも傍聴席にたくさんの方が入ってもらって嬉しいかぎりです。今後県民の皆さんが「県議会って行き易いな。」「代表質問や一般質問も行ってみようか。」と考えるきっかけになったらと思います。本日は1年の中で、知事にとっても大事な本会議でありますので、30分余りにわたって提案理由説明をされています。

奈良県のこれからのイメージというものを、傍聴席の皆さんがお持ち帰りいただけたものと振り返っています。

今日はたまたま音楽でしたが、今後も議場開放の催しとして、幅広く取り組んで行きたいと思います。

(3) 議会改革シンポジウム

昨年は4月27日に橿原市内で議会改革シンポジウムを開催いたしました。

今年も4月の下旬に第2回目の議会改革シンポジウムを開会したいと思います。これは県議会の政策検討会議が主催するもので、県議会議員、県内の市町村議会議員が一堂にお集まりいただいているいろいろな意見交換ができたと思っています。

(4) 議員提案条例

今回の定例会県議会では、厚生委員会の提案で「なら歯と口腔の健康づくり条例」を提案します。

また「がん対策推進条例」の一部改正を行います。がん対策推進議員連盟で精査して4項目にわたる改正点をあげていく予定です。

今後も議会提案の政策をどんどん上程していきたいと考えています。

(5) 議会事務局の組織の充実・強化について

庶務課を総務課、調査課を政務調査課に名称変更します。

議会活動をしっかりとサポートするため、事務局組織の充実を図ることとしました。

〈質疑応答〉

記者；議場コンサートは今後も催されるということですが、頻度としてはどうお考えですか。定例会ごとに開催ですか。

議長；本日のアンケートの結果で参加いただいた方の反応や奈良テレビ、インターネット、奈良テレビの県政フラッシュをご覧いただく方もありますので、

その方々の声を反映し考えたいです。その評判が良ければ定例会毎にでも開催したいと思います。

議会の議場をどのように使うか、定例会に限らず、燈花会の時の議場前でコンサートを行っているように、使い方はいろいろあると思います。たとえば、芸術展として作品展なども考えられます。6月には県主催でミュージックフェスタが行われるがこれと連動した議場の使用についても議会内部で検討していきたいと考えています。

また、去年は高校生議会を行ったが、本年も行いたいと考えています。

議会広報委員長；去年の高校生議会では十津川高校の生徒からドクターヘリの話があり、施策になった。これはすごい成果である。現場の意見に知事が感銘を受けたようである。

議長；高校生議会も初めて議場を使った、使っていただいたというのが適切かもしれないが、議場の使い方は、いろいろな取り組みが議会として考えられます。

何かおもしろい案があれば（記者の方も）逆提案してください。

京都では議員が着物を着て議会を行っています。いろいろなアイデアがあると思います。

記者；庶務課を総務課にすることで業務は変更されるのか。

議長；業務内容は変更しない予定です。

副議長；今回の定例会の特徴は議員提案条例が2本ということで、前国中議長時から議員が何かしようという流れを作ってきて、形になったと思います。条例について今回は厚生委員会で一つ、議員連盟で一つ、現在交通基本条例のような条例が特別委員会で控えています。そこを事務局がフォローしていて、力をいれていくために事務局の充実を図ることとしました。

議会広報委員長；何年か前にくらべて議員提案はずいぶん多くなりました。それに対して知事部局も応えていただいています。連携しながらより良い県政をおこなっていく。政策提案はもともと我々がすべきと思っています。

記者；1定例会2本の条例の議員提案をされるというのは初めてですか。

議長；過去にないことです。